

しのび寄る脅威 ボタンウキクサ

主任学芸員 (陸水化学)
芳賀裕樹



▲ボタンウキクサ(撮影:前畑政善)

琵琶湖博物館のフィールドレポーターの皆さんと一緒に、ボタンウキクサの分布状況の調査中です。実は、私の専門は水草ではなく、水中の物質循環とか、それに関連する水質などです。ボタンウキクサが大繁殖すると水質に悪影響が出るので、調査を始めました。

ボタンウキクサは繁殖力が猛烈に大きく、水路や池の水面を完全に覆ってしまうことがあります。そうすると水中には光がささなくなるので、ほかの水草は生えることができなくなります。また大気からも遮断され、水中の酸素がなくなってしまう可能性もあります。こうした危険性から、ボタンウキクサは特定外来種に指定され、栽培や頒布が禁止されています。

しかし、数年前まで観賞

用に販売されていたので、いつどこで急に増えないとも限りません。すでに淀川ではワンドで大繁殖が問題になっています。琵琶湖でも南湖の湖岸や一部の内湖で見つかっていますが、内陸部の池や水路でも見つかる可能性は高いと考えられます。

ボタンウキクサの繁殖を防ぐには早期発見・早期除去が最も有効な対策です。そこで分布調査を通じて身近な水域に脅威が迫っていることを多くの方々に知ってもらうとともに、地元の方々が早期に発見し、直ちに除去できる体制を作ることを目指しています。

琵琶湖にはたくさん種類の魚がすんでいるという事は、みなさんもよくご存知でしょう。では、琵琶湖の「貝類」は何種類くらいいると思われま

すか?有名なセタシジミをはじめ、タニシ、カラスガイ、うーん、5種類くらいかな? いえいえ、実は周辺の水系も含めると、なんと60種類以上もの貝類が生息しているのです。そしてその半分近く当たる約30種類は

琵琶湖の固有種なのです。これほど多くの固有種がくらす湖は世界的にも珍しく、化石も豊富なことから、分類や進化の研究をする上でとても面白い研究対象だと思えます。ところが、「淡水貝類」というのを専門に研究する人は非常に少ない!やっぱり黒っぽくてジミくなどころが人気がない原因でしょうか? 僕はもともと美術系の出身です

ので、なぜこんな地味な奴らに10年近くも付き合

って来れたのか、自分でも不思議に思うことがあります。

でも琵琶湖の底で何万年もの歳月を静かに暮らし、いま現在もまさに進化の途上にあると思われる彼ら。その小さな体に、未だに十分に解明されたとは言いえない「進化の秘密」が隠されているのかも...と思うとロマンを感じます。そう、外見ではたの

「時」に魅力を感じているのかも知れません。

琵琶湖博物館資料整理業務 貝類担当 出口武洋



▲ヤマトカワナ
カワナ仲間には特に分化が著しく、滋賀県にすむ18種のうち15種が琵琶湖固有種

こんにちは! 展示交流員です。



私たちは、琵琶湖博物館の案内だけでなく、展示を通してみなさんと交流し、みなさんに身近な自然や生活へ目を向けていただく「かけはし」となっています。どうぞお気軽にお声をかけてください。

昨年度の「交流員と話そう」からの取材です。来館者の方とどんな交流があったのでしょうか。今年度のテーマも聞いてみました。

「琵琶湖の鮎」(齊藤交流員)

▶どのような内容ですか?
▶一昨年から「琵琶湖の漁」をテーマにしています。漁師さんに話を聞いたりエリ漁の体験もしました。漁や琵琶湖の現状についてお話ししています。鮎は普通1年で死んでしまうので通年展示が難しい魚です。飼育の工夫も伝えています。

▶お客さんとの交流は?
▶鮎は身近で美味しい魚です。お客様からは釣りの成果や料理方法など楽しい話をたくさんうかがいました。

▶今年度のテーマは?
▶ディスカバリールームで、「いろいろな歯」というテーマ



まで動物や魚の歯を見たり触ったりして、新しい発見のある交流をしたいと思えます。

「西アジアの湖 ガリラヤ湖」(村田交流員)

▶テーマを選んだ理由は?
▶アジアでは、琵琶湖は東の端にあり、ガリラヤ湖は西の端にある湖です。この湖は琴湖と呼ばれていて、形も琵琶湖に似ています。アジアの東西の端で名前や形が似た湖があり、人々の生活の共通する部分にも興味を持ちました。何か滋賀県と関係があったのではないかなと思うこともあります。



▶ガリラヤ湖がどこにあるのかを説明するのに地球儀を使いました。お客さんとはクイズを交えて交流しました。海外の湖なので旅行の話が多くなりました。

▶今年度のテーマは?
▶同じB展示室で「滋賀県内 朝鮮半島ゆかりの地」をテーマに、渡来文化の紹介や古代勢多橋の構造などについてお話ししたいと思います。